

兵庫県保険医協会第51回総会・設立50周年記念講演・祝賀会のご案内

今後の超高齢・少子社会と国民皆保険制度の財源選択

日本福祉大学 名誉教授・前学長

にき りゅう
二木 立 先生



本講演では、2冊の拙著をベースにして、今後の超高齢・少子社会の見通しと今後の医療費財源選択についての私見を述べます。前半では、以下の3点を指摘します。① 今後人口高齢化が進んでも、社会の扶養負担は増加しない。②日本の労働生産性伸び率は低くないし、今後も、1人当たりGDPが毎年1%成長すれば超高齢・少子社会は維持できる。③日本の医療費(対GDP比)は最近OECD加盟国の上位になったが、加盟国の高齢化率の違いを補正すると、日本は「高医療費国」とは言えない。

後半では、まず、国民皆保険制度が医療(保障)制度の枠を超えて、日本社会の統合を維持するための最後の砦になっていることを強調します。次に、国民皆保険の主財源は保険料、補助的財源が消費税を含む租税だと私が判断するに至った経緯・理由を述べます。最後に、租税財源を消費税のみに絞るのは危険で、その多様化が不可欠だと主張します。【二木 記】

《ご略歴・プロフィール》

日本福祉大学名誉教授。1947年生まれ・71歳。医学博士(東京大学)、博士(社会福祉学)(日本福祉大学)。1972年東京医科歯科大学医学部卒業。東京・代々木病院で脳卒中早期リハビリテーションの診療と臨床研究に従事。1985年日本福祉大学社会福祉学部教授。社会福祉学部長、大学院委員長、副学長・常任理事、学長等を歴任し、2018年3月定年退職。日本医師会医療政策会議委員、日本ソーシャルワーク教育学校連盟副会長。著者は、『地域包括ケアと地域医療連携』(2015)、『地域包括ケアと福祉改革』(2017)、『医療経済・政策学の探求』(2018)、『地域包括ケアと福祉・ソーシャルワーク』(2019)等、多数。

6月16日(日) 神戸ポートピアホテル 本館B1F 偕楽の間

- 13時30分～ 総会議事
- 15時20分～ 記念講演会
- 17時15分～ 祝賀会 (参加費不要)

ご参加の場合 FAX 078-393-1802【組織】までご返信ください

- 議事から出席します
- 記念講演に参加します () 人 祝賀会に参加します

(医療機関名) (お名前)

兵庫県保険医協会

北阪神支部
ニュース

2019年5月25日号 No.294

発行者 兵庫県保険医協会北阪神支部
支部長 中井通治

〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31
神戸フコク生命海岸通ビル5階

☎(078)393-1801 FAX(078)393-1802

http://www.hhk.jp/

医療・介護制度学習会 感想文

情報の少ない
患者さんの手助けに



ハンドブックの活用を訴える阿江先生(右)を講師に
高額療養費制度など知っておくべき制度を学んだ

北阪神支部は3月23日に研究会「知って得する医療・介護の役立つ制度」を開催し、会員、スタッフなど40人が参加した。神戸女子大学講師の阿江善春先生が「くらしと命を守るハンドブック(兵庫県社会保障推進協議会発行)」をテキストに高額療養費制度などについて解説した。沢村泌尿器科クリニックの職員の感想文を紹介する。

薬や治療が新しくなるのはうれしいことだが、医療費の負担は大きくなる。医療費が高額になった時、負担を軽くする制度や支援する制度があることは何となく知ってはいる。が、いざ自分や家族がその立場に立った時、すぐ利用できるかと言われるとなかなか難しいと思う。

(次のページに続く)

(前のページから)

役所等で告知をしているがリーフレットを見てもよくわからない。一人ひとり違う状況だ。自分がそれに該当するのか、どこに相談に行けばいいのか分かりにくいのが現状ではないだろうか。

数年前、義母が末期癌で在宅療養となった時に、訪問看護師やソーシャルワーカーの方々が親身になって制度や手続きの仕方について説明してくれた。看護に必死で余裕のなかった私たちには本当にありがたかった。足の悪い義父のことも気にかけてくださり、障害者手帳を取得することができた。お陰で私たちは義母の看病に専念できた。義母が亡くなってからも義父はいろんな福祉制度を利用し、現在は希望通り一人暮らしをしている。当たり前のように思っていたが、今日の講演会を聞いて、なかなか情報を得られないこともあるのだと知った。私の場合は本当にラッキーだったのだ。

クリニックの患者さんや一人暮らしのお年寄りには情報量も少ないだろう。ご自分の状況について他人に話す機会が少ない方もいると思う。小さなクリニックでも、完璧でなくても制度や相談先など案内はできると感じた。病気であっても豊かに明るく過ごせる手助けができればと思う。

【宝塚市・沢村泌尿器科クリニック 職員】

研究会でも使用

くらしと命を守るハンドブック 頒布のご案内

兵庫県社会保障推進協議会推進協議会 発行

協会では、今回の医療・介護制度学習会でも使用した「くらしと命を守るハンドブック」を無料頒布しています。

ハンドブックでは、国保料や介護保険料の減免制度、高額療養費制度や生活保護制度など分かりやすく解説しています。

「国保料が払えず、保険証が取り上げられるかも」「入院予定だが、医療費が高額になりそうで心配」など患者さんから相談を受けた場合に、「役所の窓口で保険料分納の相談を」「限度額適用認定証の申請はしましたか」などアドバイスするために、ぜひハンドブックをご活用下さい。

注文やお問い合わせは 078-393-1807 まで



A5 サイズ 49 ページ

兵庫県保険医協会のホームページは

<http://www.hhk.jp/>

*生涯研修に役立つ各種研究会のご案内、生活を支える共済制度のご紹介、日々の協会活動報告を掲載しております。ぜひご覧ください！



幹事会だより

第381回 5月9日(木)宝塚商工会議所 特別会議室B 参加3人

◆北阪神支部の会員数と組織率

5/8現在 医科345人(75%)、歯科194人(59%)

◆情勢と医療運動対策

消費税10%への増税がおよぼす影響や、診療報酬改善などについて議論した。

◆当面の支部活動

医科歯科連携研究会

日時 6月29日(土)15時~17時

会場 いたみホール会議室3

講師 谷口紀善先生(伊丹市・谷口耳鼻咽喉科医院院長)

参加費 無料

◆次回幹事会

6月6日(木)14時30分~ 伊丹市立図書館ことば蔵

お問い合わせはTEL 078-393-1805 有本・小川まで

健康情報テレホンサービス

通話料無料 (0120) 979-451

Web siteでも
ご覧いただけます



<6月のテーマ>

月曜日 高齢者の婦人病
火曜日 舌がん
水曜日 子どもの顔のあざ
木曜日 COPDについて
金土日 毛虫皮膚炎

<7月のテーマ>

月曜日 ドライアイについて
火曜日 口呼吸をしていませんか？
水曜日 ぎっくり腰
木曜日 大腸がんの早期発見
金土日 鼻づまりからおこる病気

*都合により、テーマの一部を変更する場合があります。祝日は、前日のテーマを放送します。



☆北阪神支部ニュースへの投稿を募集しています

支部ニュースへの投稿を募集しています。

日常診療にかかわることや、主張、趣味のお話などお寄せください。

TEL 078-393-1805 / FAX 078-393-1802 e-mail arimoto@doc-net.or.jp 担当;有本まで